

2008 年 12 月 9 日

国内最大級の環境展示会に初出展 セブン&アイ 『エコプロダクツ 2008』に出展 ～ シアター形式で環境対策をわかりやすくご紹介 ～

株式会社セブン & アイ・ホールディングス（以下、セブン & アイ HLDGS. 東京都千代田区、代表取締役社長：村田紀敏）は、12 月 11 日（木）～13 日（土）に東京ビッグサイトにて開催される国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2008」（来場者見込み：約 17 万人/入場：無料）に初めて出展いたしますので、ご案内いたします。

記

【出展ブースの概要】



セブン & アイ HLDGS.では、『セブン & アイ HLDGS.環境スタジアム』と称して、ブース内（20 小間：12m × 15m）内に 3 メートルを超えるジオラマ『セブン & アイ・タウン』を設け、来場者とのクイズを交えた約 25 分間のシアター形式で、環境対策をはじめ以下の取り組みを分かりやすく紹介します。

セブン-イレブン、イトーヨーカドー、グループ各社の環境への取り組み

【セブン-イレブンの主な環境対策】

- ・ IH 式のおでんウオーマー、セラミックタイルの採用、結露防止ガラス等の省エネ設備の導入
- ・ 商品の共同配送システムや、運行管理、エコドライブ等による物流対策

【イトーヨーカドーの主な環境対策】

- ・ LED 照明やソーラーパネルの採用
- ・ 氷蓄熱設備やヒートポンプ空調機等の最新の省エネ設備の導入

【グループ各社の主な環境対策】

- ・ 「そごう」の屋上緑化、「デニーズ」の省エネ設備の導入等

セブン-イレブン、イトーヨーカドーの“食の安全・安心”への取り組み

【セブン-イレブンの主な取り組み】

- ・ 全ての原材料についての仕入れ・使用履歴を一元管理する「レシピマスターシステム」

【イトーヨーカドーの主な取り組み】

- ・ 商品の産地や生産方法、流通履歴を重視した自社ブランド「顔の見える食品。」
- ・ 農業生産法人『セブンファーム富里』における完全循環型農業への取り組み



セブン-イレブンをはじめとするコンビニエンスストアの『セーフティステーション活動』

- ・ 地域の“安全・安心の拠点”としてのコンビニエンスストア（24 時間営業）の取り組みの紹介
- 以上

ご参考

【セブン&アイ HLDGS. 出展ブース（イメージ）】 東京ビッグサイト 東展示棟 1 ホール

- ブース外観 -



- ブース内（上方からの概観） -



「エコプロダクツ 2008」の概要

開催名称：地球と私のためのエコスタイル
フェア エコプロダクツ 2008
（今回の開催は 10 回目）

会期：12 月 11 日（木）～13 日（土）
10：00～18：00 *13 日は 17 時終了

会場：東京ビッグサイト
東展示場 1～6 ホール

入場料：無料

来場者見込：170,000 人
（前回実績：164,903 人）

以上